

ミモザの島に消えた母 (2015)

BOOMERANG

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 フランス

時間 101分

初公開日 2016/07/23

公開情報 ファントム・フィルム

映倫 G

【キャッチコピー】

もし、語られてきた家族史が
すべて偽りだとしたら――？

【解説】

『サラの鍵』の原作者タチアナ・ド・ロネの同名ベストセラー小説を映画化したミステリー・ドラマ。幼い頃に体験した母の死に囚われ続けた主人公が、30年の時を経てその真相究明に乗り出し、禁断の秘密の封印を徐々に解いていく中で、家族それぞれの苦悩や葛藤が明らかになっていくさまを描く。主演は「麗しき日々」のロラン・ラフィット、共演にメラニー・ロラン、オドレイ・ダナ。監督は本作が長編3作目のフランソワ・ファヴラ。

フランス大西洋の美しい島、ノワールムティエ島。30年前、この島で一人の若い母親が命を落とす。40歳のアントワンは今もなお、その母の死と折り合いをつけられずにいた。仕事も上手くいかず、結婚生活でも破綻を迎えてしまった彼は、改めて母の死と向き合うべく、妹のアガットを伴い、故郷ノワールムティエ島へと向かう。しかし父も祖母も母の死について頑なに口を閉ざそうとする。ますます不信感を募らせるアントワン。そして、気乗りしないアガットを尻目に、執拗に当時のことを調べ始めるのだったが…。

【クレジット】

監督	フランソワ・ファヴラ	Francois Favrat	
製作	フランソワ・クロス	François Kraus	
	ドゥニ・ピノ＝ヴァランシエンヌ	Denis Pineau-Valencienne	
原作	タチアナ・ド・ロネ	Tatiana De Rosnay	
脚本	フランソワ・ファヴラ	Francois Favrat	
共同脚本	エマニュエル・クールコル	Emmanuel Courcol	
撮影	ロラン・ブリュネ	Laurent Brunet	
プロダクションデザイン	マチュー・ムニユ	Mathieu Menut	
衣装デザイン	エマニュエル・ユーチノウスキー	Emmanuelle Youchnowski	
編集	ヴァレリー・ドゥセーヌ	Valérie Deseine	
音楽	エリック・ヌヴェ	Eric Neveux	
出演	ロラン・ラフィット	Laurent Lafitte	アントワン
	メラニー・ロラン	Melanie Laurent	アガット
	オドレイ・ダナ	Audrey Dana	アンジェル
	ウラディミール・ヨルダノフ	Wladimir Yordanoff	シャルル
	ピュル・オジエ	Bulle Ogier	ブランシュ
	アン・ロワレ	Anne Loiret	

アン・スアレス	Anne Suarez
リーズ・ラメトリー	Lise Lamétrie
アンジェル・ガルニエ	Angele Garnier
ガブリエル・アジェ	Gabrielle Atger
ジャン＝スタン・デュ・パック	Jean-Stan Du Pac